

社団法人日本自閉症協会
奈良県支部ニュース

いとしご増刊

きずな 絆

第77号 7月号
発行2004年 7月10日



購読料1部100円

(会員は会費に含まれています)

発行人：社団法人日本自閉症協会

編集人 社団法人 日本自閉症協会 奈良県支部

支部長&事務局：河村舟二 〒639-1055 大和郡山市矢田山町84-10

TEL&FAX 0743-55-2763

URL：http://www.eonet.ne.jp/~asn/

発達障害者支援法について

発達障害者支援法」9月の臨時国会に法案提出、成立をめざすことに

2004年5月19日設立された超党派による議員連盟は、昨日閉会した今国会において法案の提出ならびに成立をめざし努力を続けていますが、不正常だった今国会では日程的にむずかしく、提出は見送りととなりました。次の国会(秋の臨時国会)で法案提出、成立をめざすこととなります。引き続き皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

尚、関連記事については下記をご覧ください。
http://www.autism.or.jp/hs-sienhou/index.htm
平成16年6月14日

社団法人日本自閉症協会

会長 石井哲夫

「発達障害者支援法案」の国会上程について

去る5月19日に設立されました超党派による議員連盟は、今国会において法案の提出並びに成立をめざ

し努力を続けて下さいましたが、年金法案問題などで日程的に厳しい状況となり、次の国会(秋の臨時国会)での法案提出、成立をめざすことになりました。

多くの方に法案の主旨をご理解いただき、法案成立と自閉症児者へのご支援をいただきたく、協会としての基本的な考えをホームページにおいて公開することといたしました。どうかよろしくお願いいたします。

1. 「発達障害者支援法案」についての協会としての基本的な考え

英国自閉症協会が英国政府と、TEACCHが州政府との折衝で自閉症に特化した支援システムを実現しておりますが、日本自閉症協会としても日本における支援システムを実現させていきたいと考えております。

「発達障害者支援法案」は、発達障害を定義し支援の必要性を明らかにするものであり、支援システムを実現させるための根拠が明確とな

るという点で今後につながる大きな意義があります。

当協会としては、法案成立の取り組みと合わせて、支援システムの実現に向けた検討をすすめる、具体的な事業の整備を行い、自閉症の人とご家族の明るい未来を実現させたいと考えます。

これらの実現には、協会が一致協力して取り組みを行っていくことが大切であり、みなさまのご協力をお願いいたします。

2. 「発達障害者支援法案」が必要な状況をご理解いただくために
(1) 自閉症および発達障害については法的には知的障害者の枠の中での対応となっています。

(2) しかし、自閉症および発達障害については知的障害とは別に困難さを抱えているため、知的障害を念頭においた制度では実態にあった適切な支援を受けられず、支援の対象者としても認定されない人が多くいます。

(3) また、幼児期から学童期にかけての成長の過程において、適切な療育を受けることができれば、自閉症および発達障害による各種の困難

さは、軽減することも可能であり、さらに就労についてもそれぞれの障害の状況に応じて必要な支援や配慮があれば、多くの人が就労し障害を持たない一般の方々と一緒に社会生活を送っていくことができることがわかっています。

(4) これまででは見過ごされることも多かった自閉症および発達障害については、早期に発見し、適切な支援が受けられる環境を整備していくことが、極めて重要であり、まずは「発達障害者支援法」を成立させて、環境整備のための枠組みを確立したいと考えます。

3. ホームページによる関連情報の公開と掲示板による意見交換について多くのみなさまのご理解、ご支援をいただくためホームページにおいて関連情報を公開することいたしました。また、意見交換の場をつくることで、生の声をだしていただき法案成立に近づけるとともに、よりよい支援システム作りにもつながることを期待しています。

平成16年6月14日
社団法人日本自閉症協会

会長 石井哲夫
奈良県の皆様からも発達障害者支

援法案成立に向けた意見を出して下さい。

自閉症協会のホームページには専用の掲示板をもうけてありますので、インターネットにつながる方は一度アクセスして下さい。

<http://www.autism.or.jp/cgi-bin/hs-wforum/hs-wforum.cgi>

なお協会の掲示板利用では、

1 法案を成立させるため、具体的な事例と法案の必要性や、わからないことの質問など、沢山の声をお届けください。

2 なお、障害の状況や環境の違いから、いろいろな見方や考え方がありとあります。他の人と自分の考えが違う場合に、他の方の考えを直接否定するような投稿はご遠慮ください。

3 他の方とは違う意見を、先に書かれたことの否定ではなく、別にご自分の事例や考えとして記載していただくことは結構です。4 また、協会本部としては投稿内容を十分に読ませていただき、コメントさせていただく場合がありますが、すべてにコメントをさせていただきますことはいたしませんので、ご了解をお願いいたします。※不適切な発言と判断した場合、管理者が削除さ

せていただくことがありますとの留意点がありますので、ご理解ください。

(河村)
平成16年6月16日
日本自閉症協会

会長 石井 哲夫 先生発達障害者の支援を考える議員連盟
事務局長 福島 豊

前略

平素は誠に御世話になり、衷心より御礼申し上げます。

設立総会開催後の、議員連盟の経過についてご報告をさせていただきます。

会期末をひかえた6月15日に、会長 橋本 龍太郎先生、副会長 野田 聖子先生、古川 元久先生、山口 富男先生、阿部 知子先生ご出席のもと役員会を開催させて頂きました。

先般の総会でご了解頂きました要綱を元に作成させて頂きました別紙の法案(概要・要綱・条文を作成)についてご了承をいただき、秋に想定されている臨時国会において法案提出を目指して各党の手続きを鋭意進めていただくことで合意を致しました。

なお、法案提出に先立ち、概算要求に向けて別紙の要望を関係各大臣にさ

せていただくこともご理解いただき、この日に財務・文部科学・厚生労働各大臣に要請させていただきました。

以上、概要御報告させていただきました。

末筆ではありますが、石井先生の益々の御健勝、御活躍を心より御祈り申し上げます。

平成16年6月16日
財務大臣 谷垣禎一殿
文部科学大臣 河村建夫殿
厚生労働大臣 坂口 力

発達障害者支援にかかる施策の充実と予算の拡充に関する要望書

発達障害者の支援を考える議員連盟
会長 橋本龍太郎
広汎性発達障害(自閉症スペクトラム、アスペルガー症候群等)、注意欠陥多動性障害、学習障害等の発達障害は、小中学校の児童・生徒の約9%に認められると言われるなど、頻度の高い障害である。

これらの発達障害を有する者に対して、障害の早期発見・診断、医療的、福祉的、教育的な発達支援を適切に提供することにより、社会的機能の改善が期待でき、また、生活支援や就労支

援により、発達障害を有する者の地域における自立した生活を実現することも可能である。

しかしながら、現在の我が国においては、発達障害を有する者に対する保健福祉施策は、知的障害者施策の一部として部分的に行われているにどまつており、早期発見・早期の発達支援の取組や保健福祉的施策と教育施策の連携も十分とはいえず、発達障害者やその保護者は様々な困難を経験している。

このような状況の中、我々は、発達障害に対する国民の適切な理解の促進とともに、施策の対象として十分な対応がなされていない発達障害者に対し、包括的な支援体制の構築を図るため、超党派の議員連盟を設立し、新たな法律の制定を行おうとするものであるが、発達障害者への支援の充実の緊急性に鑑み、平成17年度予算の概算要求にあたり、発達障害者支援施策が、関係省庁の縦割りを廃し、有機的な連携のもと包括的かつ効率的に推進されるよう、政府に対し下記の要望を行うものである。

一、発達障害に関する早期発見、早期

記

の発達支援から教育支援に至る、地域における一貫した支援体制を構築すること

二、発達障害者の支援にかかる関係機関の連携強化を図るため、発達障害者支援センター（自閉症発達障害者支援センター）の全国整備を実現すること
三、発達障害者に対する生活支援、就労支援の取組を推進すること
四、発達障害者支援を担う人材の確保を図ること

五、発達障害に関する実態把握及び効果的な支援方策等に関する研究を推進すること

以上

自転車で行こう

自閉症協会奈良県支部主催：自閉症の地域支援を考える県民の集い（映画会）

を行います。

現在、療育部が中心となって計画中です。現在決まっていることをお知らせします。

ドキュメンタリー映画『自転車で行こう』上映予定

○日程 11月26日（金）

○場所 大和郡山城ホールホール

○費用 未定。助成申請中で許可されれば無料で行えます。

○上映時間他詳細は、決まり次第、今後「絆」、チラシ、ホームページ等で

伝えさせていただきます。

今回の映画は大阪生野区在住 李君（20歳）

とてもひとなつっこい自閉症者です。彼の1日は自転車に乗って、周りの人との会話から始まります。彼にとつたら当たり前の毎日、それは私たちの子が手を伸ばせば届きそうです。でも、遠い世界！

障害の人とではなく、一人の人間と接することの大切さ。

「ママさん（今のハルヤンネさん）」が言われた『違う人間…いいえ同じ人間』この言葉を一般の方にも悟らせてくれるのではないのでしょうか？ 自閉症関係の方に見ていただきたいのはもちろんですが、それ以上に一般の方に見ていただきたい映画です。

地域の人との関わり、当たり前の毎日の生活での出来事。

それができない障害の人がたくさん居る事の理解。日常生活の中にも今でもたくさん落とし物をしていくことに気づいていただきたい。いえ！気づかせてくれる映画のほずです。皆さん、是非 観に来て下さい。そして、周りの方々にも呼びかけていただいだけませんか？！

療育部 金本美知子

映画会についての問い合わせは、療育部の山上さん ☎0742-74-2659 渡邊さん ☎0744-43-2392 金本さん ☎0743-75-5654 にご願ひします。

CAST 李復明（リ・プーニョン）

STAFF 監督：杉本信昭 プロ
 デューサー：小松原時夫、住
 田望 撮影：南幸男 田・録
 音：落合智成 編集：村本勝
 EFD：久保田尚 整音：滝澤
 修 音楽：寺嶋琢哉 メディ
 ア映画上映時間 115分 製作
 国日本公開情報 モンタージユ
 初公開年月 2003/12/06 シヤ
 ンルドキュメンタリー株式会
 社モンタージユ 〒156-0057 東
 京都世田谷区上北沢 4-10-18
 TEL: 03-3303-9871 [http://
 montage.co.jp](http://montage.co.jp)



講習会 知

講演会

「自閉症を正しく理解すること」

（教育現場における自閉症支援）

主催：日本自閉症協会 朝日新聞厚生

文化事業団

後援：厚生労働省 文部科学省

熊本県 熊本市 熊本県教育委員会

熊本市教育委員会

熊本県自閉症発達障害センター

いっ

ぽ（予定）

自閉症の人たちに適切な支援をする
 ために必要なこと。それは、言うまで
 もなく「自閉症の人たちの障害を正し
 く理解すること」です。いま世界で最
 も認められている自閉症の人たちへの
 支援モデルである米国人スカロライ
 ナ州のTEACCHプログラムでは、
 いまだ説明されていないことの多い
 自閉症の人たちの障害を正しく理解す
 ることこそがその究極の目的と言いま
 す。TEACCHプログラムの総責任
 者ゲーリー・メジボフ教授による、い
 ま最も理解しやすい自閉症を正しく理
 解し、適切な支援をするための講演会
 です。

とき 2004年8月31日(火)

10:00～16:00

ところ グランメッセ熊本・コンベ

ンションホール

(熊本県上益城郡益城町)

※熊本空港・熊本県庁から

車で10分

講師 ゲーリー・メジボフ

(ノースカロライナ大学TEACCH部

長)

参加費 3,000円

定員 300人

お弁当1,000円

ご希望の方にはお弁当を用意します

(会場周辺に食堂などはありません)

お申し

込み時にその旨お知らせください。

グランメッセ熊本

熊本県上益城郡益城町福富 1010

TEL096-286-8000

●お申し込み方法

①お名前(ふりがな)

②〒・ご住所

③ TEL・FAX

④ご職業

⑤会場名(熊本会場)

をご明記の上、右記までFAX・Eメール・はがきのいずれかでお申し込みく

ださい。また、お弁当をご希望の方は
 ⑥弁当希望とお書き添えください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

朝日旅行会「熊本講演会」係

〒104-8217 東京都中央区銀座3-

2-16

fax 03-3538-2860

tel 03-3538-2858

E-mail sal@asahiyo.co.jp

はうれしそうに菓子を口に入れた。ごく普通の小学1年生。自閉症児の父である私（記者）が見ても、全く健常児との違いが分からない。

1歳半で人気ドラマの主題歌を正確に歌った。「この子は賢い」。祖父母は喜んだ。感覚がおかしいことに気付いたのは、3歳のころだった。風呂で足に青黒いあざを見つけた。「これ、どうしたの?」。けがをしたことの自覚が長女はなかった。

怖いもの知らずで、蜂の巣に手を突っ込んで刺され、3メートルもある滑り台から飛び降り転がってもけろりとしていた。やってみたいことは即実行。スーパーでは香ばしいお茶の大きな缶に腕を突っ込んだ。保健師は平謝りし、ほうじ茶を1キロも買い込む羽目になった。

アスペルガー症候群の中には、痛みに対する反応が過剰な人や、逆に無頓着な人がいる。味覚や臭覚が過敏で、特定の会社のレトルト食品だけ嫌がったり、特定の香水を付けた人が苦手だったりすることもある。

長女は怒ると両足でジャンプしながら、2〜3時間も泣き叫ぶ。「聞き分けがない子」という視線にさらされる

から、保健師はやっと気付いた。

「しかつても、『なぜいけないのか』をこの子は理解していない」

発達心理学を専攻した精神科医を探し、今年1月にやっとアスペルガー症候群と診断された。入学式は迫る。知能は高いのだから、普通の教育を受けさせたい。障害だとは言わずに入学させた。

入学式の帰り道。子供たちがかけっこを始めた。追い抜かれた長女は怒り出した。「あやまってよ!」。相手の子は理由が分からない。保健師がなだめても30分以上パニックが続いた。こんなトラブルが入学後も相次いだ。とうとう6月8日、担任への連絡ノートで「実は……」と障害を告白した。目を合わせて注意をそらさせず、単語を区切ってゆっくり話してくれるよう頼んだ。帰宅した長女は「今日は先生の言っていることが分かった」とご機嫌だった。

自閉症スペクトラムは、新生児100人に1人はいる。わがままでも、親のしつけが悪いのでもない。そういう特性の先天性障害なのだ。特性を理解すれば対処方法はある。「3歳児や就学時の検診をすり抜けている発達

障害児はとも多いはず。保健師としても痛感します」【神戸金史、写真も】

二つづく

◇幅広い発達障害の種類

発達障害は自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害(ADHD)、学習障害(LD)などが含まれる。自閉症は知的障害がある場合と、知的障害を伴わない「高機能自閉症」があるが、いずれも(1)対人関係や社会性の障害(2)言葉や目線などコミュニケーションの問題(3)パターン化した行動やこだわりが強い、という症候が見られる。アスペルガー症候群は言葉の遅れや知的障害はない。これらを「自閉症スペクトラム」という。

一方、ADHDは(1)不注意(気が散りやすい、長続きしない)(2)多動、多弁(3)衝動的に行動する、の特徴がある。LDは全般的な知的発達に遅れはないが、読み書きや計算など特定分野に偏りがある。【鈴木玲子】

連載へのご意見、ご感想をお寄せ下さい。ファクス

03・3212・0635
メール shakabu@mainichi.co.jp 毎日新聞 2004年7月4日 東京朝刊

☆障害者差別禁止条例

千葉県が全国初で条例化を目指しています。日頃から人権の尊重をうたう奈良県が全国初とならなかったことは残念です。県だけでなく市町村も早急に検討して欲しいです。

この千葉県の障害者差別禁止条例が全国の模範となるような内容の条例になることを望んでいます。200

2004年7月8日 毎日新聞の記事：
事：

<http://www.mainichi-msn.co.jp/search/html/news/2004/07/08/20040708ddm041010149000c.html> 読売新聞の記事…

<http://www.yomiuri.co.jp/politics/news/20040708it04.htm>

高機能自閉症も対象とするようです。

【編集後記】

今年、暑夏。夏乗
体力よ夏乗
切よ夏乗
選挙終つ、生
言政治。
支部ユー
感想、意見等
寄支部役員
願。